

3月は「自殺対策強化月間」です

日本の年間自殺者数は、平成10年に急増して以降、14年連続して3万人を超えて推移していましたが、様々な方面で自殺防止の取組みが行われたこともあり、平成24年には15年ぶりに3万人を下回り、平成27年（警察庁速報値）は全国で2万3791人、福岡県で939人と減少しています。しかし、依然として多くの人が自殺で亡くなっていることに変わりはありません。

特に3月は、就職や転勤、転居など、生活環境が大きく変動する時期であり、自殺者数が増加する傾向があります。この時期は「自殺対策強化月間」と定められ、国・県・関係団体等が連携して、自殺予防対策を行っています。

■自殺者の現状

自殺に追い込まれる背景には、健康問題や経済・生活問題、家庭問題など多くの要因があるとされています。また性別では、男性が69・4割を占めており、年代別では60歳代がもっとも多く、ついで40歳代や30歳代と続き、若い世代も増加傾向にあります。



■わたしたちができること…「気づく」「つなぐ」「見守る」

あなたの身近に、悩みや問題を抱えてつらい思いをしている人はいませんか。困ったときにどこに相談できるか知っていますか？

自分自身はもちろんのこと、家族や周りの人の様子にも注目し、「いつもと違うな」「変だな」と感じたときには声を掛け合いましょう。



気づく



つなぐ

見守る

【こころの健康、悩みに関する相談窓口】

・市健康課（☎22-8571）

8時30分～17時15分、土日・祝日を除く

・北筑後保健福祉環境事務所

（☎22-3965）

8時30分～17時15分、土日・祝日を除く

【心配ごとや消費生活、多重債務に関する相談窓口】

・朝倉市消費生活センター

（☎52-1128）

10時～16時、土日・祝日を除く

3月1日（火）～7日（月）は「子ども予防接種週間です」



「子ども予防接種週間」は、4月からの入園・入学に備え、ワクチンで防ぐことができる病気から子どもたちを守るため、保護者の皆さんに予防接種への関心を高めてもらい、接種漏れがないかを今一度見直していただくために設けられています。

対象年齢のお子さんで、まだ接種が終わっていない予防接種はありますか？ 定期予防接種（法律に基づく予防接種）は無料で接種することができますが、接種すべき対象年齢（接種期間）を過ぎてしまうと、全額自己負担となります。期間内に必ず接種しましょう。

※予防接種の種類や対象年齢については、3月15日号に折込み予定の「親子健康カレンダー」をご参照ください。

【麻しん・風しん（MR）2期のワクチンは接種されましたか？】
4月に小学校に入学されるお子さん（平成21年4月2日～平成22年4月1日生）が対象となります。接種期限は平成28年3月31日までですので、未接種の場合は早めに接種をお願いします。

※「子ども予防接種週間」協力医療機関についての詳細は、朝倉医師会（☎22-2454）へ。

【朝倉管内の子ども予防接種週間協力医療機関】

病院	電話番号
福岡外科小児科医院（甘木）	22-2565
富田小児科医院（甘木）	22-2036
たかせ小児科医院（来春）	21-1146
きたの小児科医院（屋永）	23-1177
安岡医院（小田）	22-2912
まつざきクリニック（堤）	22-1066
森山内科（杷木池田）	62-0111
重松医院（杷木池田）	62-0721
古賀内科・呼吸器内科クリニック（宮野）	52-3011
中村クリニック（筑前町）	42-1801
しのくま整形外科クリニック（筑前町）	42-6021
あさひクリニック（筑前町）	092-919-0808
東峰村立診療所（東峰村）	74-2201

※医療機関へは、必ず事前に予約をしましょう。接種の際は、必ず母子（親子）健康手帳を持参してください。また、手帳には予防接種の履歴を記録しますので、大切に保管しましょう。